



東北復興支援への協力について

2012年5月25日

環境省 自然環境局

経団連自然保護協議会

昨年3月11日に発生した東日本大震災の地震や津波の被害により、東北地方の海岸や干潟、森林などの自然環境は甚大な影響を受けました。その地域社会と経済の復興に貢献する形で、豊かな自然生態系を復元していくことが急務の課題であります。

そこで、環境省自然環境局と経団連自然保護協議会は、自然環境の再生を通じて東北地方の復興支援に協力していくことを合意しました。

具体的な協力内容については、今後協議を進めて参りますが、環境省は「三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン」の中で、中長期にわたって「グリーン復興プロジェクト」を推進する方針を打ち出しており、経団連自然保護協議会としては、先導的、実証実験的な事業を含め、企業特性を活かした協力を行っていく考えです。

また、今後の取組みに当たっては、被災地の復興には、国、地元自治体、地域社会、NGO、企業などの多様な主体の連携が不可欠であることに十分留意していきます。

◆◇ ご参考 ◇◇

環境省 「グリーン復興プロジェクト」の具体的活動イメージ

- (1) 三陸復興国立公園の創設（自然公園の再編成）
- (2) 里山・里海フィールドミュージアムと施設整備
- (3) 地域の宝を活かした自然を深く楽しむ旅（復興エコツーリズム）
- (4) 南北につなぎ交流を深める道（東北海岸トレイル）
- (5) 森・里・川・海のつながりの再生
- (6) 持続可能な社会を担う人づくり（ESD）の推進
- (7) 地震・津波による自然環境への影響の把握（自然環境モニタリング）

関連ウェブサイト：環境省ホームページ

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15188>